

## 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施されます。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

### 1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先

これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。

### 2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先

- ①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様:お取引証券会社等  
②証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様:特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受けられることができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

#### 記

口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 ご 照 会 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株主・投資家の皆様へ

## 第107期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

# おかげさまで70周年!

ラサ商事株式会社は平成21年1月10日に設立70周年を迎えます。

昭和14(1939)年の設立から70年。

今後も今までに培ってきた各事業の強みを活かし、成長を目指してまいります。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。当社第107期中間報告書をお届けするにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

この上半期においては、米国のサブプライムローン問題を背景とする金融資本市場の混乱が世界的規模で拡大し、景気下ぶれリスクが高まる展開となりました。厳しい経営環境ではありましたが、当社におきましては、平成20年5月に公表いたしました中間業績予想の数値を上回る実績となりました。景気動向につきましては、予断を許さない状況が続いておりますが、下半期も計画達成に向け鋭意努力してまいります。

来る平成21年1月10日に、当社は設立70周年を迎えます。今日に至るまで当社を支えていただいた株主の皆様へ深く感謝いたしております。この節目を更なる社業発展の機ととらえ、企業価値の向上に努力してまいります。同時に上場企業として適切な情報開示、ならびに積極的なIR活動に努めてまいります。また、コーポレートガバナンスの強化やリスクマネジメントの徹底等、経営の質的向上にも努めてまいります。

引き続き、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長

井村周一



## TOP INTERVIEW

Q：中間期の業績および通期の見通しをご説明ください。

A：売上高は、前年同期比で20億32百万円(9.7%)減少し、189億54百万円となりました。部門別では、食糧・資源関連が21億47百万円の減収となりましたが、産機・建機関連、環境設備関連がそれぞれ35百万円、80百万円の増収となりました。

一方利益面では、営業利益は、前年同期比で51百万円(12.7%)増加し、4億56百万円となりました。また経常利益は、前年同期比で36百万円(8.6%)増加し、4億58百万円となりました。

しかしながら、四半期純利益は、期末に投資有価証券評価損を計上したことから、ほぼ前年並みの2億21百万円にとどまりました。これにより、1株当たり四半期純利益は17円87銭となりました。

通期の見通しにつきましては、売上高は前期比56億76百万円(13.8%)減の355億円を計画しています。減収の主な要因は、産機・建機関連、ならびに環境設備関連は増収を計画しているものの、食糧・資源関連がフェロニッケルの大幅な価格下落により、減収の見通しになることによるものです。営業利益は前期比2億41百万円(17.1%)増の16億50百万円を計画しています。増益

## 業績ハイライト

売上高 **18,954**百万円 (前年同期比 90.3%)

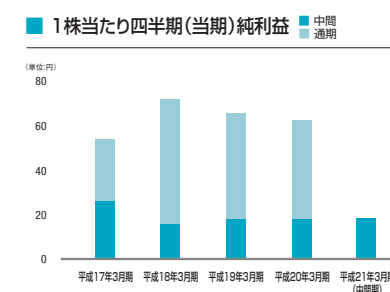
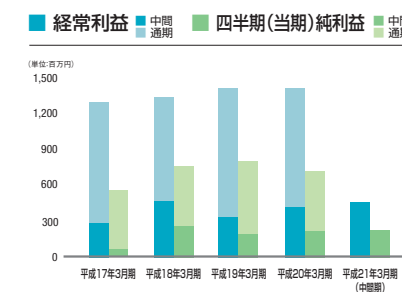
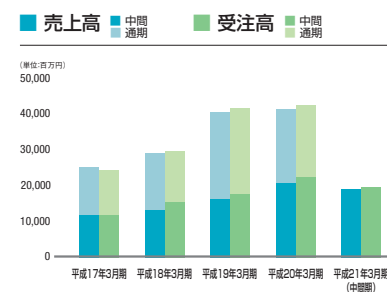
営業利益 **456**百万円 (前年同期比 112.7%)

経常利益 **458**百万円 (前年同期比 108.6%)

四半期純利益 **221**百万円 (前年同期比 100.4%)

1株当たり  
四半期純利益 **17.87**円 (前年実績 17.79円)

の主な要因は、水砕スラグ製造設備2件の売上計上を予定していることによるものです。経常利益は前期比2億38百万円(16.9%)増の16億50百万円、当期純利益は前期比1億34百万円(17.6%)増の9億円、1株あたり当期純利益は72円73銭を計画しています。

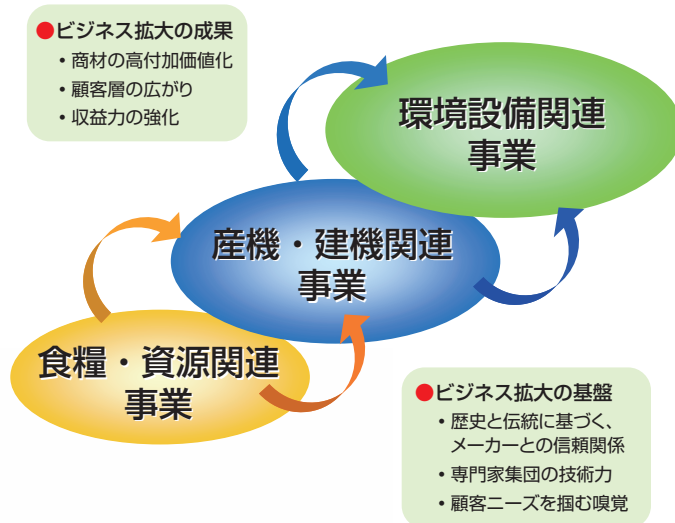


**Q：平成21年1月に当社は70周年を迎えます。70年間の事業展開の変遷、発展の経緯をご説明ください。**

**A：**当社は、昭和14年1月に設立され、平成21年1月に70周年を迎えます。設立当初はリン酸肥料関連商品を販売する商社として事業を展開していましたが、現在は「食糧・資源関連」「産機・建機関連」「環境設備関連」の3つの異なる事業を展開しています。

現在の異なる3事業を展開するようになった経緯をお話します。設立からしばらくの間は食糧や鉱物資源を取り扱う商社として事業を展開していました。現在の「食糧・資源関連事業」であります。この事業を営む中でオーストラリアとの関係が深くなり、同国のワーマン社で発明・開発されましたワーマンポンプに着目し、当時の日曹製鋼(株)(現在の大平洋金属(株))とのライセンス契約の仲介を行い、その後、総販売代理店契約を締結し、販売を開始しました。これが現在の「産機・建機関連事業」を営む契機となり、ポンプをはじめとする産業機械や建設機械の販売は、当社の主力事

## 歴史から見た事業の発展経過



業の一つに成長しました。

その後、産業機械の販売を行う中で製鉄所との取引関係が深くなり、銑鉄の副産物であるスラグを再利用するための「水砕スラグ製造設備」の技術を開発し、第1号機を昭和43年に納入しました。これが「環境設備関連事業」を営む契機となりました。その後、他の環境設備の設計・施工・販売も行うようになり、当社の主力事業の一つに成長しました。

単一の事業展開から、現在の3つの事業展開に発展させることができたのは、当社が長期にわたって取引を継続する中で信頼関係を築き上げ、当社の営業スタイルである「提案型営業」を実践する中で、顧客ニーズを的確に掴み、事業の具現化を図り続けた結果であると考えております。今後も、顧客との信頼関係やニーズを捉える嗅覚を大切にしながら、更なる事業発展を目指してまいります。



**Q：設立70周年を迎えるにあたって、今後の抱負ならびに株主の皆様へのメッセージをお聞かせください。**

**A：**当社は70年の歴史のある会社であります。長年の悲願でありました株式上場を果たすことが出来たのは、今から3年ほど前の平成18年2月のことでもあります。今後上場企業としての社会的責任を果たすため、今まで以上に経営の質的向上を図ることが重要であると考えています。

この70周年という節目を迎えるにあたり、今一度「世界の一流技術商品と有用な価値ある資源を通して豊かな社会に貢献する」という当社の基本理念に立ち返り、更なる企業基盤の確立と事業発展に努めてまいります。具体的には、既存3事業については、それぞれの強みを活かして永続的に発展させていきたいと考えています。また業容の拡大を図るためM&A等の手段も活用し、第4・第5の柱の創出を目指してまいります。将来的な「夢」として、売上高1,000億円も狙える企業にしていきたいと考えております。

また、当社の重要な経営課題であります「長期的な利益還元」についても引き続き実践してまいります。配当については、配当性

## ■株主優待制度

当社は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に下記株主優待を実施しています。



### 優待制度の内容

- (1) 当社オリジナル QUO カード (500 円) の贈呈
- (2) 財団法人緑の地球防衛基金への寄付 (優待品相当金額の 10%=50 円)

●なお、財団法人 緑の地球防衛基金への寄付 (50円) については、株主の皆様のお手を煩わせることなく、当社が株主様に代わって同基金へ寄付いたします。

向20%前後を維持し安定配当を行ってまいります。株主優待についても引き続き実施してまいります。

株主の皆様におかれましては、どうぞ末永くご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## ：TOPICS

### ワーマンポンプ 販売開始から50年

当社の主力商品の一つに「スラリーポンプ」と呼ばれる産業用の特殊ポンプがあります。その中の代表商品である「ワーマンポンプ」が、今年8月に販売50周年を迎えました。

「ワーマンポンプ」は、昭和33年8月に日曹製鋼(株)(現 大平洋金属(株))と「ニッソ・ワーマンポンプ総代理店契約」を締結して販売を開始したもので、現在は大平洋機工(株)(当社関連会社)との総代理店契約のもとで販売しています。部品を交換することによってあらゆる液体に対応できることや、メンテナンスが容易で部品を交換することによって半永久的に使用できるといった特長が多くのお客様に支持されており、販売開始から半世紀が経過した現在においても、重厚長大産業から半導体産業まで幅広い業種においてご愛顧いただいております。





事業内容	売上高推移	当中間期の概況	売上構成比
<p><b>食糧・資源関連事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食糧・各種原材料の輸入販売</li> <li>●製鋼原料の販売・各種物資類の輸出版売</li> <li>●ミネラルサンズ・各種鉱産物の輸入販売</li> </ul> <p>主な商品・技術 ジルコンサンド・フェロニッケル 金属シリコン・クローラークレーン</p>	<p>15,885百万円</p> <p>↓</p> <p>13,738百万円 (13.5%減)</p> <p>食糧・資源 (単位:百万円)</p>	<p>→ 当中間期のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●フェロニッケルはLMEニッケル相場の価格反落により減収。</li> <li>●ジルコンサンドは販売数量増加により、売上微増。</li> <li>●中国産原料・チタン原料等、新材は引き続き好調に推移。</li> </ul> <p>食糧・資源関連の売上高は、前年同期比で21億47百万円減少し、137億38百万円となりました。フェロニッケルは、販売数量が増加したものの、LMEニッケル相場が反落したため減収となりました。ジルコンサンドは、販売数量の増加により売上は微増となりました。また、従来からの取り組み課題である中国産原料やチタン原料等の新たな新材につきましては、引き続き好調に推移いたしました。</p>	<p>72.5%</p> <p>食糧・資源</p>
<p><b>産機・建機関連事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業用生産ラインおよび水処理用各種流送機器類の販売</li> <li>●マンホールポンプシステムの販売</li> <li>●各種小型建設機械・耐震管敷設用機器の販売</li> <li>●シールド掘進機の販売およびレンタル</li> </ul> <p>主な商品・技術 ワーマンポンプ・ヒドロスタルポンプ シールド掘進機・キールカッター</p>	<p>4,043百万円</p> <p>↓</p> <p>4,079百万円 (0.9%増)</p> <p>産機・建機 (単位:百万円)</p>	<p>→ 当中間期のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業機械は、主力のポンプが順調に推移。特に部品・メンテナンスが好調。</li> <li>●建設機械は、主力のシールド掘進機が好調に推移。</li> </ul> <p>産機・建機関連の売上高は、前年同期比で35百万円増加し、40億79百万円となりました。産業機械において主力のポンプが部品・メンテナンスを中心に順調に推移したことや、建設機械において、主力のシールド掘進機が好調に推移したことにより、売上は微増となりました。</p>	<p>21.5%</p> <p>産機・建機</p>
<p><b>環境設備関連事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水汚泥・産業廃棄物処理施設向け高圧ピストンポンプの設計・施工および販売</li> <li>●水砕スラグ製造設備の設計・施工および販売</li> </ul> <p>主な商品・技術 水砕スラグ製造設備(ラサ・システム) プツマイスター高圧ピストンポンプ</p>	<p>1,052百万円</p> <p>↓</p> <p>1,132百万円 (7.7%増)</p> <p>環境設備 (単位:百万円)</p>	<p>→ 当中間期のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水砕スラグ製造設備において、一部完成案件が前倒しに。</li> <li>●定期整備や部品の売上は順調に推移。</li> </ul> <p>環境設備関連の売上高は、前年同期比で80百万円増加し、11億32百万円となりました。水砕スラグ製造設備の一部大型案件の前倒しがあったこと、ならびに定期整備や部品の売上増があったことにより増収となりました。</p>	<p>6.0%</p> <p>環境設備</p>

※平成21年3月期の通期の数字は業績予想の数字であります。



## ■ 株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行済株式の総数…………… 12,374,524株

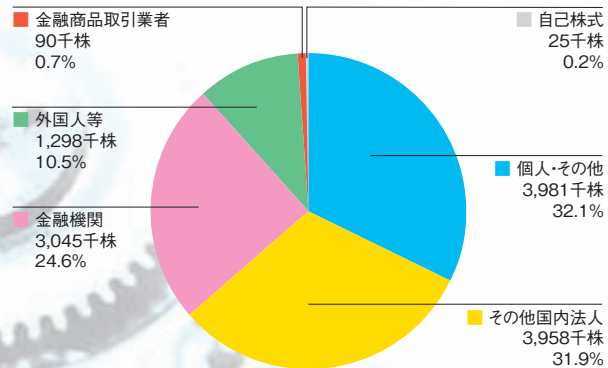
株主数…………… 3,158名

(注)発行済株式の総数および当第2四半期末株主数には、自己株式分25,476株は含まれておりません。

## ■ 大株主 (上位10名) (平成20年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大平洋金属株式会社	1,040,000	8.38
ラサ工業株式会社	1,000,000	8.06
オールドミル ビーターワイ リミテッド	720,000	5.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	546,000	4.40
株式会社損害保険ジャパン	470,000	3.79
アトラス コプコ コンストラクション ツールズ エイビー	400,000	3.22
東京海上日動火災保険株式会社	360,000	2.90
株式会社みずほ銀行	260,000	2.09
鴻池運輸株式会社	250,000	2.01
日本生命保険相互会社	214,600	1.73

## ■ 所有者別株式分布状況 (平成20年9月30日現在)



## ■ 株主メモ (平成20年9月30日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年事業年度末日から3ヶ月以内

期末配当金 毎年3月31日

支払株主確定日

中間配当金 毎年9月30日

支払株主確定日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

事務取扱場所 中央三井信託銀行株式会社 本店

同事務取扱所 〒168-0063

(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-78-2031

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および

全国各支店

上場金融商品 東京証券取引所市場第一部

取引所 (証券コード: 3023)

## 各種手続きに必要な用紙のご請求は

## 株主名簿管理人のフリーダイヤル

0120-87-2031 (自動音声案内)

およびインターネットのホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

で24時間受付しております。

## ■ 会社概要 (平成20年9月30日現在)

社名 ラサ商事株式会社  
 設立 1939年(昭和14年)1月10日  
 資本金 18億54百万円  
 本社 〒103-0015  
 東京都中央区日本橋箱崎町8番1号  
 ヤマトネ箱崎ビル  
 Tel. (03)3668-8231  
 Fax. (03)3669-1729

売上高 411億円(平成20年3月期)  
 従業員数 211名  
 会計監査人 監査法人大手門会計事務所  
 許可・免許 特定建設業許可  
 (機械器具設置工事業・電気工事業・水道施設工事業)  
 古物商許可

## ■ 役員の状況 (平成20年9月30日現在)

代表取締役社長	井村 周一
代表取締役専務	田畑 威彦
常務取締役	大西 貞夫
常務取締役	古谷 利央
取締役	川久保 明
取締役	伊藤 信利
取締役	鈴木 卓
取締役	澤本 滋
常勤監査役	加藤 章男
常勤監査役	栗田 治彦
監査役	松尾 幸
監査役	多米田 裕行

(注) 監査役 松尾 幸、多米田 裕行の両氏は社外監査役であります。

## ■ 事業所 (平成20年9月30日現在)

札幌支店 北海道札幌市東区北24条東15-4-10 第2日弘ビル  
 仙台支店 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-5-24 第一パークビル  
 横浜支店 神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-11 新横浜タウンビル  
 名古屋支店 愛知県名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル  
 大阪支店 大阪府大阪市北区堂島1-2-5 堂北ダイビル  
 広島支店 広島県広島市中区中町7-23 住友生命広島平和大通り第2ビル  
 福岡支店 福岡県福岡市博多区博多駅東3-6-3 福岡アーセオンビル  
 北関東営業所 群馬県高崎市あら町67-1 高崎あら町センタービル  
 長野営業所 長野県長野市稲里町田牧1613-3  
 静岡営業所 静岡県富士市永田町1-124-2 明治安田生命富士ビル  
 岡山営業所 岡山県岡山市表町1-7-15 パークスクエアSHOWA  
 高松営業所 香川県高松市亀井町8-11 B-Z高松プライムビル  
 札幌機械センター 北海道江別市工栄町27-15  
 東京機械センター 千葉県習志野市実羽2-35-9  
 千葉機械センター 千葉県八街市八街い278-6  
 広島機械センター 広島県広島市安佐北区深川1-15-17  
 福岡機械センター 佐賀県神埼郡神埼町大字城原字菅生534  
 (南倉倉エンジニアリング内)

中国上海駐在員事務所  
米国ポートランド事務所

## ホームページのご案内



ニュースリリースやIR資料等の最新情報をご提供しています。

[www.rasaco.co.jp](http://www.rasaco.co.jp)